

令和6年度熊本県健康づくり県民会議表彰 受賞団体

地域活動部門

1. 大野フラワー会
2. 一般社団法人 熊本市薬剤師会

健康経営、健診・がん検診部門

3. みゆきの里
4. 坂田建設株式会社
5. 株式会社 LIXIL 有明工場

運動・食生活部門

6. 湯前町野中田2区

令和7年2月9日
熊本県健康づくり県民会議



健やか生活習慣県民運動キャラクター
「ASO 坊健太くん」

大野フラワー会（山都町）

「世代間交流や子どもたちへの食育を
通した地域での生きがい・健康づくり」

団体概要

大野フラワー会は、H16 年からの長きにわたり、地域の子どもたちと高齢者の世代間交流を続けている団体です。

地域の学校から世代間交流の打診を受け、さつま芋の植え付け作業からつる返しや草取りの管理、芋掘り・収穫作業を行った流れで、地域の子どもたちと地域の高齢者 15～16 人で交流を始めました。

平成 24 年にその学校が閉校になった後も、子どもたちとの交流は新しい学校に引き継がれ、老人会の会員でなくても地域の人ならだれでも参加できる会であることを印象付けるために、フラワー会と改称し活動を継続しています。

主な取り組み・活動内容

○世代間交流

小学校と世代間交流としてさつま芋の植え付け作業から草取りなどの管理、収穫まで実践しています。休耕地を活用することで休耕地対策の一助にもなるとともに、さつま芋の栽培や収穫後の調理などの作業を一緒に行うことで、子どもたちと高齢者の交流を図る機会になっており、子どもたちへの食育にも繋がっています。

○手工芸

PP バンドでカゴを、毛糸などで雪だるま等を作り、福祉祭りや文化発表店で販売しています。座って誰でもでき、それを販売することで少しの収入を得られ、自分たちの楽しみ、生きがいにもなっています。

○地区サロンにおける健康づくり

閉校した学校を活用したランチ会を実施しており、一人暮らし高齢者の見守りや、食の提供、交流に繋がっています。また、百歳体操による健康づくりや体力づくりにも取り組んでおり、フレイル予防や閉じこもり予防にも繋がっています。

今後について

会員の高齢化に伴い、会の形は変わってきましたが、地域の気の合う仲間と、どうしたら皆が参加できるかを考え、知恵を出し合い、お互いに助け合いながら活動していきたいです。



地域活動部門 2

一般社団法人 熊本市薬剤師会（熊本市）

「薬剤師による市民の健康な生活の確保

・ 向上に寄与するための事業の推進」



団体概要

熊本市薬剤師会は、各種事業及び関係団体との交流活動等を行っており、熊本県薬剤師会の支部として、最も多くの会員を擁し、熊本県薬剤師会の活動に参加しています。

薬剤師は病院、薬局の中での業務だけではなく、地域の医薬品供給体制の確保や市民の健康の保持増進、公衆衛生の向上など様々な形で社会貢献活動を行っています。



主な取り組み・活動内容

○救急調剤

昭和 51 年より（一社）熊本市薬剤師会くまもと中央薬局における平日及び休日の急患診療業務に伴う調剤業務を開始しており、地域の救急医療への貢献とその功績を評価され、平成 22 年に救急医療功労者厚生労働大臣表彰を全国の薬剤師会で初めて受賞しました。

○市民健康フェスティバル

熊本市健康医療専門団体連合会の一員として事業に参加し、「お薬相談コーナー」において来場者からの薬や健康に関する様々な相談に対応しています。

○薬物乱用防止キャンペーン

薬物乱用防止キャンペーンを実施しており、乱用される薬物から市民の健康や安全を守り、安心して暮らせるよう尽力しています。

○熊本城マラソン健康相談コーナー

令和 5 年からは、熊本城マラソン健康相談コーナーを受付会場に設置し、ランナーが安全にレースに参加するための、薬の正しい使い方の指導や健康相談を行っています。



今後について

今後も引き続き、関係団体と連携して地域の医薬品供給体制の確保と市民の健康の保持増進及び公衆衛生の向上に努めます。

さらに、薬物乱用防止キャンペーンを実施することで広く市民に周知し、市民一人一人の認識を高めることにより、薬物乱用による健康被害を防いでいきたいと考えております。



健康経営・健診・がん検診部門 1

みゆきの里（熊本市）

「健康寿命の延伸と地域との共生

・ 共創の実現に向けた取り組み」



団体概要

みゆきの里は、保健・医療・福祉の各機能の充実を図りながら、有機的に連携することで健康寿命の延伸と地域との共生・共創の実現を目指しています。

職員の健康増進のため、組織体制の構築や福利厚生充実を図り、2019年には、健康経営優良法人認証取得しており、2021～2024年まで継続認証されています。

また、自組織だけではなく、健康寿命の延伸に向けた地域活動の一環として、全人的健康観に基づく地域住民及び職員の自助力・互助力・地域づくりの事業を展開しています。

主な取り組み・活動内容

○MHLP(みゆきホリスティックヘルスプロモーション)事業の展開

ホリスティックヘルス(身体、心、感情、精神など人間全体を対象として健康の維持増進を図る)という健康観に基づき地域住民及び職員の自助力・互助力・地域づくり力を養成しています。

○職員の健康増進に資する活動の展開

組織体制の構築や福利厚生(和楽フィットネスジムの活用、健康支援弁当提供等)の充実に加え、健康づくりセミナーの開催や全職員を対象とした体組成測定等を行っています。このような取り組みが職員の満足度やパフォーマンス向上、職員の健康増進に繋がっています。

○健康経営推進パートナーの会設立、経営者交流会の開催

健康経営に興味や関心を持たれ、みゆきの里の理念・ビジョンにも共感していただける企業・団体・個人の皆様とともに健康経営を推進するために設立しました。セミナーや健康経営に関する意見交換会では、多職種の方々との交流や健康経営の他企業の取り組みなどの共有にもつながっています。

今後について

みゆきの里のセルフケア支援のノウハウを、みなさまの健康経営に役立てていただけるよう、「より実効性をもつ取り組みの推進」に関する情報共有と発信を行っていきます。

また、現役世代への健康支援として、ホリスティックヘルスプロモーション事業の展開を行います。



坂田建設株式会社（水俣市）

「社員が楽しみながら健康を考える取り組み」

団体概要

水俣に事務所を構えて設立70年余、20代から60代までの26名の社員で、地元地域を中心に土木・建築を中心とした総合建設業を営んでおります。

人の健康は企業の安全に繋がっていると考え、社員の高齢化が進みつつある中で、安全対策の1つとして健康づくりのきっかけになればと、代表就任をきっかけに健康経営の取り組みを開始しました。社員が楽しみながら健康を考える取り組みを進めており、社員の禁煙率の向上及び健康診断の有所見者の減少という部分でも社員の健康改善に繋がっています。

主な取り組み・活動内容

○運動：朝のラジオ体操を行い、社員の健康の維持・増進に努めています。

○禁煙：屋内禁煙及び現場での分煙を実施し、取組前は、社員の3分の2ほどでいた喫煙者が、現在は3分の1ほどに減少しています。

○熱中症対策：こまめな休憩を呼びかけ、空調服を支給しています。休憩所に塩飴、ウォーターサーバー、ミストファンを常備しており、外での作業が多い中で、これまで社員の熱中症の発生なく経過しています。

○健康経営：くまもとスマートライフプロジェクト応援団登録及び健康けんぽのヘルスター健康宣言を行い、社内外への健康経営取り組みの発信を行っています

○メンタルヘルス：半年に1回、代表者が全社員との面談を実施したことで、代表者が社員のメンタルヘルスの変化に気づくようになりました。

○健康奨励金：産業医と協議し、前年度より健康改善した社員を毎年2～3人選出し、奨励金を付与したことで、社員の健康意識の向上に繋がっています

○傷病保険：社員1人1人に保険をかけ、休職時に国の補助外をカバーできるようにし、休みやすく、復帰しやすい環境を整えました。



今後について

今後は、定期健康診断に合わせて、歯科健康診断が実施できるように地元の歯科医院への相談を計画しています。

また、全社員へ毎月の歯ブラシの配布や、定期健康診断で再検査となった人への支援、メンタルヘルスに関しても、新たな取り組み内容を検討しています。



健康経営・健診・がん検診部門 3

株式会社 LIXIL 有明工場（長洲町）

「従業員に対する食の環境整備と
健康づくり活動の推進」



団体概要

株式会社 LIXIL 有明工場（以下、有明工場）は、従業員 777 名の事業所で長洲町に所在するビル用・住宅用サッシ、産業品形材を製造する西日本では唯一の材料～加工・物流までの一貫工場です。

従業員が自律的な健康管理によって心身ともに健康でいられるよう、まずは自身や家族の健康が最も重要であることを理解し、健康を維持増進するための活動に積極的に参加するよう呼びかけています。



主な取り組み・活動内容

有明工場では、従業員に対する「食育」と「参加型健康づくり活動」を実施している反面、従業員の欠食が見受けられることから、身近にある社員食堂に関するアンケート調査を実施しました。このアンケート結果から得られた意見をもとに、欠食予防のための弁当配達や健康メニューの提供、献立にカロリーを表示するなど、従業員に対する食の環境整備につなげています。



また、LIXIL 健康保険組合の保健師、食堂委託会社、行政（長洲町保健センター）の管理栄養士の 3 者で連携し、食堂において野菜の POP やフードモデルの展示、食堂で提供する小鉢の野菜をグラム表記することで、1 日に必要な野菜量を「見える化」して、従業員の野菜摂取促進に努めました。

さらに、健康ウォークの開催、健康ポイントの実施、従業員と町保健師による感染症対策としての工場内巡視、外国人向けに通訳を介して新型コロナワクチンや子宮頸がんキャッチアップ対象者への予防接種説明会を開催するなど、さまざまな工夫を凝らしています。



今後について

今後の課題として従業員の高年齢化が挙げられるため、厚生労働省が推進するエイジフレンドリー活動として、朝礼後のラジオ体操や屈伸運動等を実施します。

また、健康診断結果を分析し、要配慮者については産業医面談へ繋げたり、保健師の専門知識を生かしたりしながら、早期対応による重症化予防活動に力を入れたいと考えております。

地域・職域の連携強化としましては、長洲町の健康増進実施者会議や食育推進会議等に出席し、情報の共有や連携を図ります。

運動・食生活部門

湯前町野中田 2 区（湯前町）

「イベントやスポーツを通じた
コミュニティの強化と健康づくり」

団体概要

湯前町野中田 2 区は、町中心部の東側に位置し、人口 1 2 0 人程度の湯前町では中規模の地区です。イベントを通して地区住民の顔の見える関係づくりをおこない、毎日のラジオ体操、体力テストの実施、スポーツの愛好会を立ち上げ、体力づくりにも力を入れてきました。地区をあげて活動してこられたことで、イベントやスポーツを地区住民で楽しみ、0 次予防としての健康づくりが身近なものに根付いています。

主な取り組み・活動内容

○マラソン大会・ナイターソフトボール

地区住民の交流を図るため、S61 年まで開催。隣保対抗で行い、地区住民の団結にもつながりました。

○ハイキング・体力テスト

H16 年まで毎年 1 回、旧国鉄（JR）を利用し矢岳高原等に行っており、ハイキングを行うことで、地区住民のリフレッシュの機会となっていました。

また、公民館で年に 2 回体力テスト実施し、地区住民の体力維持、変化の確認をおこなったことで、体力づくりの動機づけにつながりました。

○ラジオ体操

S55 年から毎日実施しています。また毎月 1 日はラジオ体操の日と設定し、集まっています。地区住民の運動習慣の定着化になっており、S56 年熊本県ラジオ体操連盟会、S63 年九州ラジオ体操連盟会から表彰されました。

○愛好会（卓球・ゲートボール・ビーチボールバレー・ソフトバレー）

様々な運動の愛好会で活動し、地区住民の交流、体力づくりにつながっています。

○通いの場

毎週月曜日に活動しており、百歳体操等の体操や半年に 1 回の体力測定、月 1 回の町保健師による健康相談等を実施。その他、保健福祉課や公立病院の出前講座を依頼することもあります。

これらの活動は、地区住民の交流、体力づくり、介護予防、ひきこもり予防に繋がっています。

今後について

取り組みを始めたころからすると、地区の人口は減少し、参加者も減少しています。健康づくりは若いうちから取り組んだほうが良いので、参加者を一人でも増やしていきたいと考えています。特に男性が少ないので、男性にも声をかけて参加をすすめていきたいです。

